

FLORE21 ホットニュース

東京地区、週の前半は久しぶりの積雪の影響で完全に交通麻痺が起きてしまいました。雪国で生活している人から見たらまったくたいしたことないような雪だと思いますが、慣れていない私たちにとっては、異常事態です。みなさん、事故やお怪我など大丈夫だったでしょうか？

市場でも火曜日の鉢物セリと水曜日の切り花セリに、荷物の延着やセリ値の暴落など大きな影響が出てしまいました。

なんとか木曜日には道路も正常にもどったので一安心です。

来週は「フラワーバレンタイン」です。今週の落ち込みを取り戻せるくらいに盛り上がってほしいです。

今週のホットニュースは、

○大田店 球根付き植物 可愛いがたくさんあります

○世田谷店 「ロゼット」って知っていますか？

○葛西店 ちょっと季節外れですが、ソテツの虫箒づくりに挑戦

○会長小池のコラム(過去記事) 桜に「会いに行く」

以上の3レポート+1です。それでは、どうぞご覧ください

OFLOの部屋

今週は、雪で大変な週でしたね。

我が家の家の直ぐそばを通る甲州街道は、なんと通行止めになっていました。環八交差点より先、調布方面へは、いけなくなっていました。

生まれてこれまでここに住んでいましたが、こんなこと初めてでちょっとびっくりしました。

皆さんは無事に帰れましたでしょうか？

次の日も、高速道路封鎖の影響で、市場に荷物が届かず皆様に大変ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

今回は今、ピークを折り返してもまだまだ出荷のある「球根付き商品」をご紹介します



アイリス【キャサリンホジキン】

インスタでバズった人気品種。
球根の卸値段が去年に比べ跳ね上がった
そうで、昨年より少し値段が上がってし
ましたが、人気の品種です。

アイリス【ルイス】

今年のニューフェイス、ルイスクリームで
ギガカワイイです。さわやかな色で個人的
には、キャサリンより好きかもです。



アイリス【ハーモニー】

最初は葉っぱが長すぎてこれ花大丈夫か
なと思いましたがしっかり存在感出して
きました。入荷時の荷姿は、あまりきれ
いじゃないのですが🌸1個とってみる
ときれいな青い花を見せてくれます。

クロッカス【ロマンス】

これも長さは本当に短い(10cm位)です
が、黄色でしっかりした花弁で咲いてくれ
ます。



**チューリップ【サラ】**

一応球根付きです。

高岡市の農協のもので、多分これは去年作って
いなかったと思います。

ほんのり赤い差しが入ります。

15cm位になると思います。

ちなみに『サカタのたね』でも売ってたりし
ます。

フリチラリア【ウバブルピス】

この子は同じフリチラリアのメレ
アギリスに、いつも人気を奪われて
しまうやつです。

かわいいのに…。



富山県産は、そろそろ終盤となりました。出荷された中で対応させていただければと
思っておりますので、よろしくお願いたします。

大田店 鎌田

世田谷店おすすめ

1月の終わりに調布の神代植物公園近
くの植物多様性センターへ行ってきました。

植物多様性センターでは、毎月「おと
しぶみ」という名前のニュースチラシ
を配布しています。



1月号のテーマは「ロゼットをくらべてみよう」。

「ロゼットってなんだ？」ということでちょっと調べてみました。

「植物が地面に葉を広げ冬越しする姿を、ロゼット（バラ飾りの意味）と呼びます。規則正しく並んだ葉が花のように見えるためです。

ロゼットは開花期と比べて特徴的なものも多く、ロゼットの形だけで植物の特定も可能です。」（「おとしぶみ」より）



文章だけだと分かりにくいですが、ロゼットとは冬に畑や河原、空き地や荒地などで葉っぱだけ地面にくっついた形で生えている状態の植物を指しています。

上の写真は自生していたネジバナを鉢に移したものです。

ネジバナは草丈 15～40 センチくらいになりますが、冬はこのように地面にピッタリくっついていきます。

ロゼットの葉は広がっていますが、重なっていません。

植物は、光合成を行って成長します。それには日の光と温度、二酸化炭素が必要です。温度が低い冬場は、温度が少しでも高ければ光合成を活発に行えます。

ロゼット葉の植物は地面に近い状況で、地面からの熱も吸収して、大気の温度より高い状態で成長を行えます。

また、春に種から発芽してから成長するのと比べ、葉が出ているので、より早く成長しやすい状態で冬を越えることができ、他の植物より優位に立つことができます。

ロゼットの状態で冬越しするのは効率のよい方法なのだという事のようにです。

植物多様性センターでは、園内の植物でロゼット葉となるものをイラストにして、「ロゼットビンゴ」を配布していました。

イラストですが特徴が分かりやすく、取っておきたくなるプリントでした（実際とってあります）。

ということで園内を探してみることにしました。

が、武蔵野などの自然の状態を再現している園内は落ち葉なども完全に取除いておらず、なかなか見つかりませんでした。

やっと発見！と思ったら職員の方が見つけやすいように札をつけたものでした。とりあえずご紹介。



三種類見つけました。

上の左はセイヨウタンポポ。右はハハコグサ。最後はハマツメクサでした。

ロゼットビンゴにはタンポポとハハコグサが載っていましたが、ハマツメクサは載っていませんでした。

この記事が載る 2 月 10 日は、すでに立春を過ぎているので、ちょうど梅が咲き始めていると思いますが、この取材が 1 月末でしたので、まだ右のように一分咲き(?)な状態でした。



なお、植物多様性センターの「おとしびみ」は、過去のチラシももらえます。
お隣の植物公園では2月14日（水）から「梅まつり」が開催ですので、興味のある方はついでに寄ってみるのもいいかもしれませんね。

世田谷店 前田

仕入れの素☆葛西店

こんにちは！葛西店です！

東京にも雪が降って寒いと思ったら、また段々温かくなったりと季節がよくわからなくなりそうです。

今回はちょっとした小物入れになる「ソテツの籠」の作り方をご紹介します。



沖縄では虫籠の代わりに使うそうですよ！

必要な物は

- ・飾り終えたソテツ1本

のみ！

【作り方】

- ① ソテツを10cmぐらいに切る。
大きくすると作るのが大変なので、
10cm位がベスト！





② ソテツの一番下の葉を編むときの芯にする。



③上の葉をとって芯の葉の右上から左下になるように編む



④反対側も左上から右下になるように編む



⑤ ③と④を交互に繰り返して編み続ける



⑥芯が終わりに近づいてきたら別にとっておいたソテツの葉を入れる



⑦芯をいれたらまた交互に編み続ける



⑧編み切ったら完成！

虫籠の代わりに一輪挿しのカバーに使いたり、ペン立てに使ったり色々な使い方ができるので、ぜひ作ってみてください

以上 葛西 酒井希でした。

会長 小池潔のあれこれコラム（過去記事）

「会いに行く」（2013年02月15日号より）

日本花の会新年号の会報に日本の桜の起源が書いてあった。

「約1万年前、ヒマラヤ(ヒマラヤサクラ)からこぼれ落ちた種子が揚子江源流から江を下り、台湾海峡を横断し、台湾で「カンヒサクラ」となった。カンヒサクラは小鳥や黒潮に運ばれて南九州から関東北岸まで咲く白花の「ヒガンサクラ」となった。春の彼岸に咲くので「ヒガンサクラ」と名づけられたが、この品種は秋咲きから春咲きに本州の気候に馴致して変化し、次第に陸地へ広がっていった・・・」日本の桜の起源は1万年前のヒマラヤだった。」

桜守十六代目佐野藤右衛門は言った。

「100年200年の桜はどうにでもなる、それが700年800年たってくると人間の力ではどうもならんようになってくる」 「神が宿るんですわ」

昨年、二度も見に行った福島三春の滝桜は1000年超える樹齢と言う。山梨の神代桜は樹齢2000年。日本の三大桜のもう一つ、岐阜にある薄墨桜は樹齢1500年。藤右衛門によればいずれも神が宿っていることになる。

それぞれの花も見事であるが、その桜の魅力は幹にあるとも言われている。

なるほど、滝桜の幹周りは9.5m、幹は瘤だらけで洞(うろ)があちらこちらに見られ、その姿は一切のものを寄せつけない貫禄がある。「君達は長く生きても100年だろう、私は、これからまだ500年も1000年も世の中を見守っていかなければならない」「人間なんてちっぽけな生き物だ、あまり偉そうなことを言うものではない」と言っているようだ。

松尾芭蕉

「さまざまなこと思い出す桜かな」 300年前の句です。

岡本かの子

「桜ばないのちーぱいに咲くからに生命(いのち)をかけてわが眺(なが)めたり」

100年前です。

